

夢広場は

【清須市はるひ美術館】

所在地：〒452-0961 清須市春日夢の森1番地
 電話：052-401-3881
 開館時間：午前10時～午後7時(入館は午後6時30分まで)
 休館日：12/1(月)～6(土)・8(月)・15(月)・22(月)・28(日)～1/5(月)

清須市はるひ美術館 12月の行事予定

清須市はるひ絵画トリエンナーレ
 アーティストシリーズ Vol. 74

三浦高宏展

12月7日(日)～27日(土)

絵画が絵画であることのリアリティを追求する三浦高宏の作品は、「見えることを疑う」ことでその答えを見つけようとしています。影や残像など対象の周辺で起こる現象に注目し、存在と不在の間を浮遊するぼんやりとした「ゆらぎ」を油彩画の古典技法を使い表現しています。本展覧会では受賞作のほか、新作も多数紹介しています。

観覧料 一般 200円(160円)
中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金
 ※各種障害者手帳提示者
 及び付添人1名は無料

館長アートトーク

【今月のテーマ】日本画家秋野不矩、
 インドに魅せられて
 と き：12月20日(土) 午後4時～5時
 ところ：市立図書館 2階研修室
 参加費：無料(前日までに要予約)
 申込：電話 052-401-3881

清須アートサポーター親子ワークショップ

『クリスマスソックスをつくろう!』
 と き：12月7日(日)
 午前10時30分～正午
 ところ：市はるひ美術館
 参加費：100円
 申込：先着15名(前日までに電話予約)

NEW!



イメージ図

三浦高宏(みうら たかひろ)

1978年、岩手県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。現在、日本大学芸術学部美術学科非常勤講師。清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレにて《二重身》が準大賞に選ばれる。



《二重身》2012

アーティストトーク

12月13日(土) 午後2時から
 40分程度
 作家自身が作品について語ります!

清須市はるひ絵画トリエンナーレアーティストシリーズ

当館では1999年の開館以来、新たな才能の発掘・育成をめざし、絵画の公募展を継続して開催してきました。「アーティストシリーズ」は、この公募展で高く評価された作家から厳選して、個展形式により紹介する展覧会です。

El rincón de Eli

エル リンコン デ エリ

ノチェビエハ

『Nochevieja (古い夜)』

¡Buenas! ¿Cómo va? (こんにちは!元気ですか?) 12月になり、もう少して1年が終わりますね。今回は「Nochevieja」について話したいと思います。

スペインでは、1年で一番最後の夜である大みそかの夜のことを、「Nochevieja」つまり「古い夜」と呼びます。多くの企業は12月31日は休みではありませんが、夜の準備をするため、いつもより早く仕事を終えます。

家族と一緒に過ごすクリスマスと違って、Nocheviejaは友達と一緒に過ごす人が多いです。日本と違って、家でゆっくりするのではなく、新年の深夜になるとクラブをはじめ、新年を迎えるパーティーが町中で開かれます。パーティーは翌朝の8時位まで続き、家に帰る前に朝ごはんとして「churros con chocolate」(チュロスとホットチョコレート)を食べに行く人も多いです。

私は高校や大学の頃には、毎年このようなパーティーへ行っていました。しかし、Nocheviejaのクラブの入場料は通常の数倍にもなるし、ひどく酔っ払っている人がいつもより多くなるので、最近では外のパーティーへ行かず、友達の家に集まって楽しく過ごすことにしています。今回2年ぶりにスペインに帰るので、今年のNocheviejaをとて楽しみにしています。

「エリのコーナー」は今回で最後になります。次回から、スペイン語のアドバイスをする「エリの“スペイン語ちょっぴりレッスン”」というコーナーが始まります。楽しみにしててくださいね。



「マドリッドで新年を迎える人々」

国際交流員

エリのコーナー ⑥